

## 全校朝礼



2016.1.20(水)

おはようございます。

みなさん、冬という字を思い浮かべてください。～冬という字を見ていると 頭巾をかぶった人のようにこっと その人わらってる 冬という字をみているとぼたんの花のおおいのよう もう雪がきても大丈夫 冬って本当はあったかい あちこちで 「お入り ここよ」 ってよんでるみたい～ なんだか気持ちもちがほっこりする詩ですね。先日の図書だよりに載っていました。寒い冬もこんな風を感じる心があれば大丈夫なのですね。凍てつくような寒さの日でも、温かい部屋の中で、温かい食べ物を口にすることができる私たちは、なんて幸せなのだろうと思います。

冬というと 1月17日に起きた阪神淡路大震災のことを思い出します。6434人の方が亡くなって先日で21年が過ぎました。皆さんが生まれる前のことです。あの寒空に投げ出された多くの方は、大切な人や住む場所を一瞬にして、なくしてしまいました。でも、あの絶望的な寒さの中、それでもボランティアの方々のあたたかい気持ちに出会って救われたのだそうです。

### 人は変わる！

さて、きょうは「人は変わる！」というお話をしたいと思います。私はこの1週間、たまたまですが「自分を変えた」人に多く出会いました。1月11日月曜日は成人の日でしたね。九中の体育館では「千里新成人の集い」がありました。ことし九中41期生の人たちが20歳になりました。この体育館に180人も集まりました。41期生の人たちは、私が九中に来て初めて卒業証書を手渡した人たちだったので、一人ひとりのことをとてもよく覚えているはずでした。でもみんな、あまりにも立派になってちょっと見ただけではわかりません。何よりも話をしてみると、まあなんてしっかりしたのでしょうか。たった5年間でこんなに変わるものなのかと思いました。中学時代、いつもうつむいている印象だった子が、私の所に駆け寄ってきて、大学での様子を明るく話してくれ嬉しくなりました。何か自分を変えるようなことがあったのでしょうか。若い皆さんは、どんな風にでも、たった数か月、数年で変身することができます。

そして、14日の木曜日 Jon Pritikin さんの講演会。1,2年の皆さんだけでしたが、感動しましたね。もちろんフライパンや鉄の棒を簡単にまげてしまったり、ものすごく硬いバットをあっという間に折ってしまったり、ギネスの記録になるようなその怪力には本当に驚きました。でもその生い立ちを知り、その怪力の意味を知るとその驚きは100倍、200倍もの感動にかわりました。Never

give up 決してあきらめない気持ちで自分を変えたからこそ、今の Pritikin さんがあるのですでしたね。本当にひどいじめにあって抵抗もできない、ただうつむいてがまんするだけだった中学生や高校生の頃、彼自身もその後の、こんなにたくましい自分を想像することができたのでしょうか。彼が変われたのは、ある一人の先生との出会いがあったからでした。そしてそこに Pritikin さん自身の心の変化と努力があったから、変わったのだと思います。



16日の土曜日、絵本作家の鈴木のりたけさんの講演を聞く機会がありました。今売れっ子の絵本作家さんです。「しごとば」や「かわ」が有名です。実は彼は、転職して絵本作家になりました。絵本作家になる前、何をしていたと思いますか？ 彼がはじめについた仕事は、新幹線の運転手さんでした。運転手さんの仕事もよかったけれど、やっぱり絵を描く仕事がしたくて、グラフィックデザイナーになりました。それから縁があって絵本作家に転身したそうです。そして今のような活躍があります。昨日、2年生の人たちと一緒に聞いたろう者の高橋縁（ゆかり）さん。不登校や引きこもりだった自分を変えフットサルの日本代表にもなりました。今こうして講演活動をしています。

私はこの1週間、色々な出会いや努力を通して、自分を変えながら、今生き生きと活躍する人たちに会って何となく晴れやかな気持ちになりました。どんな逆境があったとしても、自分を変えながら前向きに進んでいる姿がさわやかだったからだと思います。隠されている自分に気づき、納得できる自分になるために次の行動を起こせるちょっとした勇気があった人たちです。人との出会い、本との出会い、挫折や失敗があったから・・・変われるチャンスは人それぞれたくさんあって、いい出会いがその人をプラスの方向にいつでも変えてくれます。私から見ると若い皆さんの今は、とっても柔らかいお餅のように思います。どんな風にもでも形を変えられるということです。今がこうだから、自分の性格はこんなだし、こんなコンプレックスがある、今の環境では無理、失敗したら恰好悪いし、勉強できないからお先真っ暗、将来に希望なんて特にないし・・・なんて考えてしまう人！**あきらめるのは100年早い。大丈夫。**

今から皆さんはどんな風にもでも変われるのです。これから先、たとえ大人になっても自分はこうだから、自分はこれしかできないから、もう無理だしなんて今の自分を決めつけてはいけません。いつも前向きにいきましょう。5年後、6年後、7年後の成人の日、ここにいる先生方と一緒に、かっこいい大人に変身した皆さんに、会いたいと思います。

これで私のお話を終わります。